

生物多様性保全のための国際的取組（各論：環境分野における ODA）

- 生物多様性の保全等の地球環境保全は人類の共通の課題
- OECD 統計上、我が国の環境関連分野における援助規模は大きい
- 生物多様性、砂漠化、気候変動の各分野では気候変動の規模が大きい

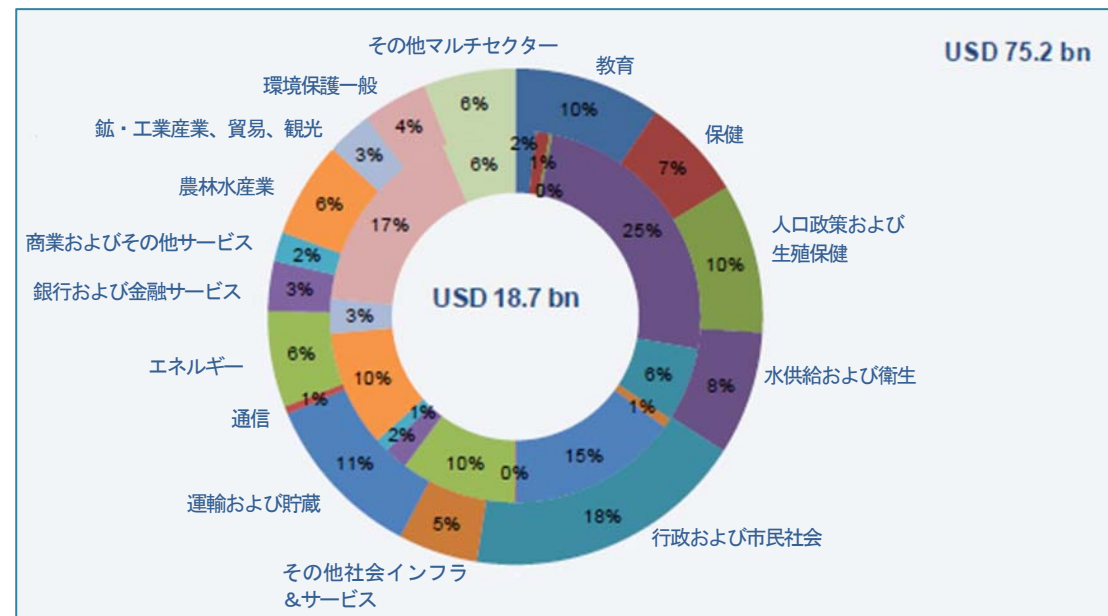
1. 環境関連分野全体の支援(OECD-DAC 加盟国)

二国間 ODA の約 25%が環境を目的の中に掲げている。

環境に焦点をあてた二国間 ODA（2008-2009 年の約束額の年平均）

外円: 対象援助分野の分類が可能な二国間 ODA 総額(2008 年を基準とした実質額: 752 億米ドル)

内円: 各分野の援助で環境に焦点を当てた二国間 ODA の額(2008 年の実質金額 187 億米ドル)



以下の分野で環境に関する目標を掲げるものが対象:
 教育、保険、人口政策、水供給・衛生、政府・市民社会、その他の社会インフラとサービス、運輸・保管、通信、エネルギー、金融、ビジネス等、農林水産業、製造・鉱業・建設・貿易・観光、環境保護全般、その他
 出典:「Aid in Support of Environment」(OECD, 2011)

2. リオ 3 条約関連分野の ODA 実績: OECD 全体

(億米ドル(名目値))

条約	2006 年	2007 年	2008 年	2009 年
生物多様性	30.0	33.7	32.5	50.0
気候変動	35.0	36.7	77.8	92.1
砂漠化対処	14.0	14.0	23.6	13.0

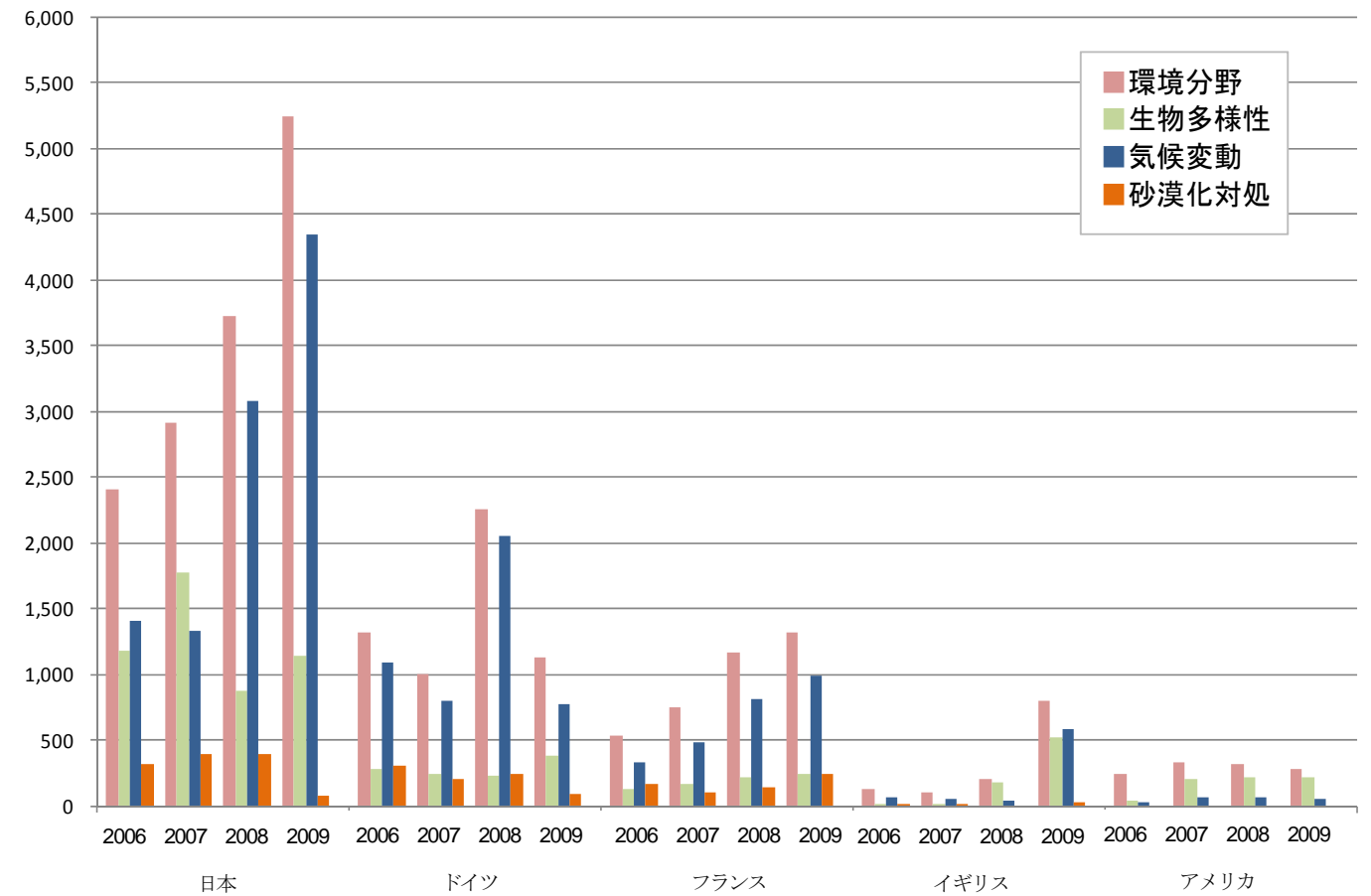
OECD の Creditor Reporting System _Full (OECD CRS Online Database) のデータを集計したもの。複数の条約に重複して計上されている ODA もある。

3. 環境分野の援助とリオ 3 条約分野の実績: DAC 主要国比較

単位: 百万ドル(名目値)

	2006				2007				2008				2009			
	環境分野	生物多様性	気候変動	砂漠化	環境分野	生物多様性	気候変動	砂漠化	環境分野	生物多様性	気候変動	砂漠化	環境分野	生物多様性	気候変動	砂漠化
OECD	6030	2495.5	3505.3	1401.4	6892.3	3370.1	3669.9	1402	10743.9	3253.7	7776.7	2356.3	12554.4	4095.7	9205.5	1295.6
日本	2401.4	1177.3	1407.3	316.9	2908.1	1777.9	1332	396.6	3723.2	876.7	3084	392.5	5247.2	1134.9	4340.1	77.4
独	1312.7	277.6	1094.9	301.9	1000.7	243.3	798.2	198.7	2258.6	234.9	2057.5	243	1128.9	382.6	773.1	88.8
仏	530.4	130.8	327.5	161.4	744.7	165.5	481.1	107.2	1164	222	808.6	141.5	1323.6	244.7	989.4	245.3
英	126.2	12.2	58.1	10.7	101.2	9.7	51.4	4.1	197.6	178.4	41.4	0	797	517.8	580.6	31.3
米	240.1	39.8	30.5	0	325.8	202	58.7	0	323.1	216.7	63.9	0	284.7	210.8	53.1	0

単位: 百万ドル(名目値)



OECD の Creditor Reporting System _Full (OECD CRS Online Database) のデータを集計したもの。
 生物多様性、気候変動、砂漠化対処の複数の条約に重複して計上されている ODA がある。
 生物多様性援助、気候変動分野援助、砂漠化対処分野援助の分類・定義は OECD による。
 「環境分野の援助」=「環境保護一般」+「生物多様性」+「気候変動」+「砂漠化対処」-(重複額)。